

2024年3月5日

2024年度「第18回 スポーツ教材の提供」についてのご案内

ポッチャボールセットとタグラグビーセットを合計120団体に提供

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS)は、2024年3月5日(火)～4月23日(火)、2024年度「第18回 スポーツ教材の提供」の募集を行います。

「スポーツ教材の提供」は、スポーツに親しむ機会の充実を図り、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的に2007年度から開始しました。2024年度は教材を継続的に活用し、子どもたちにスポーツ機会を提供することを計画している団体に、ポッチャボールセットを60団体(小・中学生)、タグラグビーセットを60団体(小学生以下)に提供します(応募多数の場合は第三者による抽選)。

ポッチャは、年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が協力し合い、競い合えるスポーツとして2020年度から採用。タグラグビーは、身体的接触がないため子どもたちが安心して楽しくプレイできるスポーツとして初回から提供しています。特に幼少期は身体の神経が急速に発達することから、継続して教材を活用し、身体を動かすことの楽しさを知り、スポーツを好きになってもらえることを願っています。

専用の申請フォーム(<https://www.ymfs.jp/>)よりお申し込みください。



【提供教材】



ポッチャボールセット
(60 団体:対象は小・中学生)



タグラグビーセット
(60 団体:対象は小学生以下)

【教材活用事例】



ホームページにて教材活用報告でいただいた「アイデア」や「工夫」の一部をご紹介します。
<https://www.ymfs.jp/supply/report/>

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:濱北)

www.ymfs.jp

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500
TEL : 0538-32-9827 FAX : 0538-32-1112

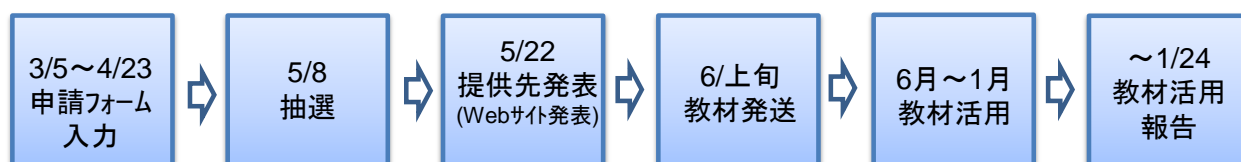
Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112

2024年度「第18回 スポーツ教材の提供」募集要項

目的	スポーツに親しむ機会の充実を図り、心身ともに健全な子どもたちを育成する
募集期間	2024年3月5日(火)～4月23日(火)
対象団体	保育園・幼稚園・認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設、児童クラブ、スポーツ少年団・クラブ・スクール等、スポーツに取り組む団体
応募条件	(1) WEB 上での活用計画書等の提出(申請時) (2) 教材を継続的に活用して子どもたちにスポーツ機会を提供できる団体 (3) 活動の取材、および当財団ホームページで紹介が可能な団体 (4) WEB 上での中間・最終報告書と活動写真の提出 ※報告書の提出期限: 中間=2024年10月31日/最終=2025年1月24日 ※教材活用の参考として、各団体の報告書は相互にWEB上で閲覧できるよう開示します。 ※写真はホームページで使用する場合があります。各団体の基準に合わせた写真を提出してください。
提供教材と使用対象者 (1)(2)のいずれか	(1) ボッチャボールセット 60 団体 (対象は小・中学生) ・ボッチャボール 13 個、審判具、収納バッグ (2) タグラグビーセット 60 団体 (対象は小学生以下) ・タグボール(4号球) 3 個+タグベルト(ジュニア) 15 組
申請方法	ホームページの「スポーツ教材の提供申請フォーム」(https://www.ymfs.jp/) より
選考方法	書類審査後、5月8日(水)に第三者による厳正な抽選にて決定
結果通知	5月22日(水) 17時 ホームページに抽選結果掲載 ※提供が決定した団体にはメールを送付
教材発送	6月上旬に発送予定

■申請から報告までのながれ



●以下に該当する場合は申請できません

- ・主な使用者が、タグラグビーセットは中学生以上、ボッチャボールセットは小学生、中学生以外の団体
- ・応募条件を満たしていない団体 ・個人での申請 ・同一団体からの複数申請
- ・過去に教材提供を受けたにもかかわらず、活用報告が未提出の団体
- ・昨年度、教材の提供を受けた団体からの同一教材への申請

●確実に連絡可能なメールアドレスを記入してください

- ・申請後の連絡はメールにて行います。メールアドレスが間違っていると、当選連絡をお送りできません。
- ・申請受理後は、確認メールが自動的に送信されますので、必ず、常に連絡のとれるメールアドレスにしてください。

●教材提供後は、2025年1月24日までに必ず活用報告書と活動写真を提出してください

- ・活用報告書と活動写真は、当財団ホームページで使用する場合があります。

応募の詳細は：<https://www.ymfs.jp/supply/>



【教材活用事例】

宮城県栗原市立志波姫小学校

報告者：山内孝一先生／教材：タグラグビーセット

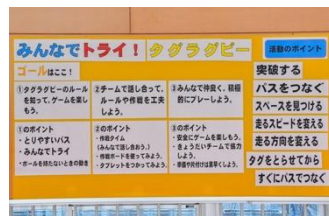
Philosophy: 運動が苦手な子どもを少しでも減らしたい

体育の授業を通じ、子どもたちにスポーツを好きになってもらうことを目指してきた山内先生。ラグビー経験者であり、団結してトライを目指し、試合後はノーサイドの精神で互いを称え合うラグビーの魅力を実感していました。加えて身体接触がなく、ボールをもって前に走るシンプルなタグラグビーの特徴から、かねてより体育の授業にタグラグビーを取り入れたいと考えていたそうです。



Plan: やさしく、楽しく

タグラグビーを体育で行うにあたり重視したのは、“やさしく、楽しく”。日頃から個別最適化した授業を目指し、どの児童も十分に運動を楽しみ、活躍できるやさしいゲームにする4つの視点、①技能やルールがやさしい、②状況判断がやさしい、③プレッシャーが少ない、④道具や施設がやさしい、を意識しました。



Do: 互いを認め合い楽しめる環境づくり

タグラグビーは、競技経験者が少なくレベル差が出にくいことや、ボールを前にパスできないなどの特性から、全員が活躍しやすいスポーツと言われています。そこでクラスみんながさらに活躍でき、仲間意識を高め、協力することの大切さについて、みんなで考えていけるようにと、①オリジナルルールの策定、②役割分担、③“きょうだいチーム”の設定、④作戦タイムを設ける、を掲げ実践しました。



Check: 学級づくりに役立つタグラグビー

運動の楽しみを実感できる取組を心がけた成果か、運動を苦手とする子や女の子が生き生きと活動することができました。特に“きょうだいチーム”をつくり、子どもたちが互いに教え合い、認め合い、考えを共有し合う場を設けたことで徐々にチームの結束が強まっていくことを子どもたちも体感できたようです。

こうした児童同士の思いやりの気持ちが高まり、良好な人間関係づくりができたことで笑顔が絶えず、“タグラグビーは学級づくりに役立つスポーツ”と言います。



Action: 誰でも指導可能な内容へ

タグラグビーに挑戦した当初は、楽しく、みんなが活躍できることを主体に取り組んできた志波姫小学校。2年目には、6年生が“全国小学生タグラグビー大会宮城県予選で1勝する”を目標とするなど活動の幅が広がりました。また山内先生は、体育の各単元の指導用動画を作成しているほか、タグラグビー用の動画も準備する予定で、今後もタグラグビーの授業は継続されていきそうです。



※本活用事例は一部を抜粋したものです。完全版はホームページにてご覧いただけます。

https://www.ymfs.jp/supply/report/case_26/